

について講演があり、その後、産婦人科医・小児科医からそれぞれ関係する講演が行われた。聴講者は316名であった。

#### 4. 認知症サポート医フォローアップ研修 [2月19日(土)・Web開催] について (荒木常任理事)

北海道から認知症施策について、北海道警察から公安委員会の診断書作成について説明があった。その後、シンポジウムとして「認知症に係る諸問題および最近の動向について」をテーマに、北海道認知症サポート医連絡協議会・伊古田副幹事長より「新たな認知症診断基準について」、弁護士法人佐々木総合法律事務所・福田弁護士より「認知症患者の代理意思決定について」と題して発表があった。参加者は105名であった。

#### 5. 外部各委員会報告

##### (1) 北海道小児在宅医療推進協議会 [2月7日(月)・Web併用] について (三戸常任理事)

座長に小職が指名された。令和2年度小児科を標榜する病院に係る小児科医師数等の調査結果について報告があった後、北海道小児等在宅医療連携拠点事業の実施状況等について協議した。また、一般社団法人スペサポが「医療的ケアが必要なお子さんと家族のための支援ガイドブック」を作成した旨の報告があった。

##### (2) 第3回北海道地域医療介護総合確保基金(介護分)検討協議会 [2月18日(金)] について (藤原副会長)

令和3年度北海道計画の中間事業評価および第2回検討協議会で出された意見等への対応について報告があった後、令和4年度基金を活用したキャリアパス支援研修事業や介護ロボット導入支援事業等の方向性について説明があった。

#### 道総医協関連事項 (鈴木副会長)

##### 1. 第3回地域医療専門委員会 [2月10日(木)・Web併用] について (佐古副会長)

へき地医療拠点病院の指定の考え方について協議し、指定要件として「医療従事者への研修など」を加え、民間病院も追加指定の対象とすることとした。その後、地域医療支援病院制度の改正について報告があった。また、地域医療構想における次年度の取組方針および令和4年度地域医療介護総合確保基金(医療分)事業について協議を行った。

##### 2. 第3回地域保健専門委員会 [2月17日(木)・Web併用] について (藤原副会長)

北海道がん診療連携指定病院の新規・更新指定について協議した。その後、北海道小児・AYA世代のがん患者等の妊よう性温存療法研究促進事業や北海道のアレルギー疾患対策について報告があった。

## 北海道医報へのご投稿等について

◇広報委員会◇

北海道医師会では、会員の皆さまから「学術投稿」「会員のひろば」等各種原稿を下記要領にて募集しております。ぜひともご投稿いただきたくお願い申し上げます。

なお、写真作品のご投稿につきましては、ホームページに「フォトギャラリー」を設けておりますので、ご応募ください。

### 投稿要領

#### 1. 原稿の締切

毎月5日までにいただいたものは原則として翌月号に掲載となります。ただし、「会員のひろば」については、受付状況により掲載号を決定します。

できるだけメール等の電子メディアでお寄せください。

#### 2. 原稿の体裁と字数制限

- (1) 原則として横書きといたします。
- (2) 引用文以外は、すべて当用漢字、現代かなづかいを使用してください。
- (3) 誤字、脱字、明らかな間違い等は広報委員会において訂正いたします。
- (4) 1回の掲載紙面は、原則として「学術投稿」は2頁、「会員のひろば」は1頁を限度とします。

医報1頁は約2,200文字です。ただし、タイトル、写真、図表等を含んでおりませんのでご考慮ください。

- (5) 長文原稿および連載物は、広報委員会にて採否決定の上で分割掲載、掲載号等を決めさせていただきます。

#### 3. 原稿の訂正、返却

次の場合は、広報委員会の決定に基づき、執筆者に対し訂正を求めるか、または返却いたします。

- (1) 特定の個人・団体を誹謗、中傷する内容
- (2) 匿名の投稿
- (3) 本誌以外に既掲載のもの、あるいは投稿中のもの(二重投稿)  
ただし、特に必要と認められる場合はこの限りではない
- (4) その他掲載に支障がある内容

#### 4. ホームページへの掲載

特にお申し出のないかぎりホームページに掲載されますので、予めご了承ください。

連絡先：北海道医師会事業第一課  
TEL 011-231-7661 FAX 011-241-3090  
E-mail: ihou@m.doui.jp